

・・*・*・* 今月のエピソード *・*・*・*・*

1. 「これならいいよ」の代替案～子どもも大人も満足・達成感！

新入園のAちゃん。入園前からママは『好い事作り療法』の関わり方を学んできたので、Aちゃんの「聞く耳」は作られています。ホールでBちゃんが手に持っていた安心グッズのキューピー人形を見たAちゃんは、とっても欲しくなって「貸してー」を言わずに、Bちゃんから取ってしまいました。

Bちゃんは、びっくりしつつ自分より小さいAちゃんの様子を見て、怒らずに貸してあげましたが、少ししてから、Aちゃんの間隙を見て取り返しに行きました。(さすがお姉さん！のBちゃん♡)

翌朝、ホールで又、Bちゃんのキューピー人形を見て欲しがるAちゃんに「これ、可愛いでしょ～Aちゃんのキューピーだよ！」と言って、キューピー人形の写真(6cm位の)をプリントして切り抜いて、破れないようにして作った物を代替品として「Aちゃんのキューピー♪Aちゃんのキューピー♪」と言って歌いながら渡しました。

Aちゃんは直ぐに笑顔で受け取って大満足。私と一緒にステージの上で飛び跳ね続けました。

ママは「本当に写真が代替品になるとは、思ってなかった。無理だと思ってた！」と、驚かれていましたが…。

ママに受容をベースにした関わり方をしてもらってきているので、自分の気持ちに折り合いをつける事が出来る力を持っているAちゃんは、大人が“積極的な満足作りの声かけ”をしながら「これならいいよ、いいでしょ～」と言う代わりにする物の提案をすれば「私の気持ちを分かってもらえて、写真だけど私のための物(特別感)が手に入ったから可愛いし、まあいいわ！これで満足！わ～い！」と、自己説得する事(妥協・我慢)もできるのです。

我が子を信じて、あの手この手で満足と積みりを作り、ママも「やった！」と達成感を得ながら子育てしましょう！

田野 準子



2. 母子分離不安の解消～子どもによって必要な時間は異なるけれど…継続は力なり！！

入園後ママの昼の休憩時に、不安で泣いていたCちゃん。担任は「ママ～！」「ママ～！早く帰ってきて！」「ママがいないと寂しいけど、頑張ってるよ～」と一緒に泣いたり（泣き真似）しながら傍に寄り添って、Cちゃんの気持ちを代弁し続けました。

1、2日目は10分ほどの母子分離の時間でしたが、Cちゃんは泣き続け眠ってしまいました。（お母さん曰く、Cちゃんは小さいころから、嫌な事があると逃避？して眠る事があったとの事）でも、お母さんが戻るとすぐ目覚めて安心した表情を見せました。

3日目からは、母子分離の直後は泣くものの、担任がCちゃんの好きな果物の絵本やままごとに誘い「見て見て！りんごあるよ！」「みかんもあるよ！」と言うとその声に応じて注目できて、Cちゃんから「ごりら…」と言って『くいしん坊のゴリラ』の手遊びをするように担任に求めたり、興味のある事で遊ぶ事が出来るようになってきました。



7日目からは、母子分離の時間になるとCちゃんから担任の手を握り扉まで行き、お母さんとバイバイし、担任が「ママー早く帰ってきてね！」と代弁をしながら一緒にお母さんの姿を見送ると、Cちゃんは泣かずに遊ぶことができるようになりました。

短期間に分離不安の安心が得られたCちゃん！担任が代弁（凶星を言う）を繰り返し続けたことでCちゃんは「先生は私の気持ちを分かってくれている。大好きなママがいないのは悲しいけど、先生と遊んでいたらママは必ず戻ってきて、ギュってしてくれる。ママがいない間は、ママの代わりに先生がいてくれるから安心していいんだ。安心して先生と好きな遊びをしてママを待っていよう～」という気持ちが作られたのだと思います。（ママは安全基地になっているので、戻ってくれば安心・笑顔のCちゃんです♡）

ママがCちゃんの成長を願い信じて継続して登園してきている事、担任が継続して「凶星を言い、好きな遊びをしてママの帰りを待つ事」を続けてきた事…で、Cちゃんは見通しが持てて、安心できるようになりました。継続は力なり！！です。



初めての通園の生活はドキドキしたり、不安なことがたくさんあると思います。でも、継続していくことで必ず不安は解消していきます。お子さん達が安心して過ごせるように、寄り添って頑張っていきたいと思います。